

## ◎災害時の応急給水

南街・桜が丘地域防災協議会 本部

東大和市には、東京都水道局の応急給水拠点が、2カ所あります。

(上北台浄水場、東大和給水所)

その2カ所において雨の中、「災害時の応急給水」作業が確認されました。

今回は諸事情により、自治会等の一般参加による訓練の形をとらず、以下の参加団体による、作業の確認となりました。

(参加団体)

- ・東京都水道局(多摩水道改革推進本部 立川給水管理事務所)
- ・株式会社 PUC(水道局のサポート事業者)
- ・東大和市(防災安全課、保険年金課、土木課)
- ・東大和第一光ヶ丘自治会(2名)
- ・南街・桜が丘地域防災協議会(1名)

### ★東大和給水所での応急給水作業

#### 1. 作業確認開始にあたって



東京都水道局 原田様



#### 2. 門の開錠



(株)PUC 様による門の開錠



### 3. 応急給水用自家発電室



ディーゼル自家発電装置により、停電時は地下の貯水池より、水を吸い上げます。  
又発電室内には、3基の簡易給水装置が収納されています。

### 4. 応急給水装置

#### 応急給水の操作手順

**準備**

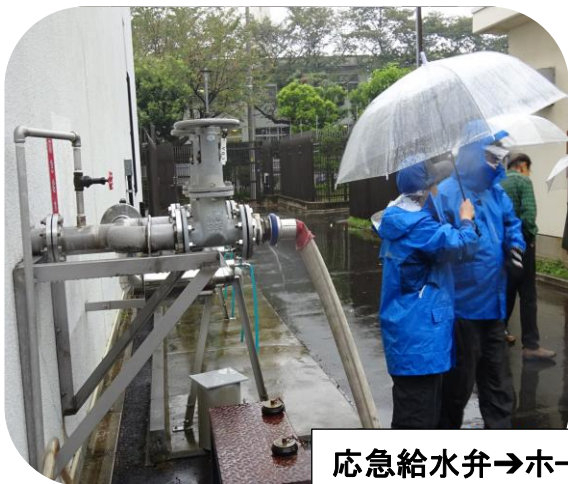
1. 応急給水装置（応急給水栓・架台・給水ホース）の設置。応急給水栓及び架台・給水ホースは応急給水用自家発電室に収納してあります。

**運転操作**

2. 給水ホースを給水口①に接続する。
3. 応急給水用自家発電室内の応急給水設備操作盤により給水ポンプを運転する。
4. 空気抜き弁②を開けることを確認し開める。
5. 応急給水弁③を開ける。
6. 設置した応急給水栓末端弁④を開き排水後に閉める。
7. 応急給水栓架台の給水栓を開けて給水する。

**停止操作**

8. 応急給水弁③を閉める。
9. 応急給水設備操作盤により給水ポンプを停止させる。

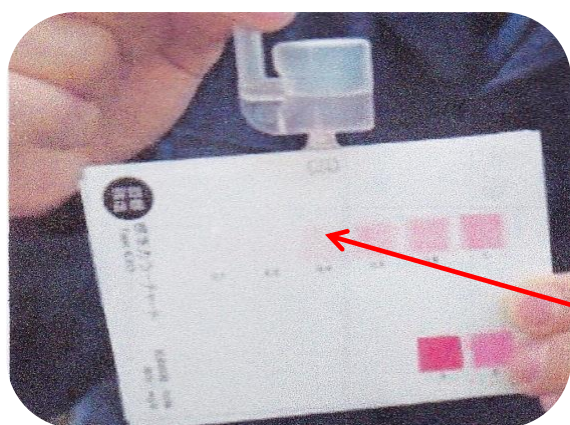


応急給水弁→ホース→簡易給水装置

## 5. 水質の確認



白いバケツによる不純物の視認。



試薬による、塩素濃度の確認。  
0.1~1.0mg/ℓが適正。  
今回は0.4mg/ℓでした。

## 6. 確認作業の終了



以上